

# 滋賀県における今後の環境学習のあり方について(小委員会中間まとめ概要)

## 1. はじめに

<p><b>検討の背景</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災による意識変化</li> <li>マザーレイク21計画や低炭素社会づくり</li> <li>国際社会の動向(ESD推進)等を踏まえた環境教育促進法改正</li> </ul>	<p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境問題の深刻化、多様化</li> <li>人や自然とのつながりの希薄化 等</li> </ul>
<p><b>方向</b></p> <p>人と人、自然のつながりに思いをはせ、ESDの枠組みから環境学習を捉え直し、<b>持続可能な社会づくり</b>を目指す学習へ</p>	<p><b>目指す</b></p> <p>琵琶湖をはじめとする滋賀の環境と生態系が健全に保たれ、バランスのとれた経済発展を通じて、県民すべての生活の質の向上が図られている豊かで安全な社会</p>

## 2. 滋賀の環境学習のめざすもの

**人づくり、その先の社会づくりへ**

気づく、学ぶ、考える、行動するといった人づくり(人材育成)によって、行動する、つながる、解決するといった持続可能な社会づくりを進めていく

**滋賀らしさ**

・過去から受け継がれてきた琵琶湖の自然や県民の環境意識を未来につなぐために、地球規模の視点から世界や世界の人々とのつながりを意識しつつ、環境問題とその解決を自分ごととして捉え、身近なことから行動できる人づくりを通じて持続可能な社会を実現する

■ 環境学習のイメージ

## 3. 滋賀の環境学習で大切なもの

<p><b>「実践」をより意識した取り組み</b></p>	<p>自然体験学習 + 課題解決型学習に重点を置き、人々を具体的な行動に導く</p>			
<p><b>「つながり」を意識し深める</b></p> <p>世代のつながりは環境学習の原点として意識しつつ</p>	<p><b>場の</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然の場、生活の場、教育の場、社会の場など相互につながりをもたせながら、生涯を通じてそれぞれのライフステージに応じた学びや実践を行っていくこと</li> </ul>	<p><b>人と人の</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人と人とのつながりの中から生まれる信頼感や仲間意識は行動の大きな原動力であり、人づくりのプロセスの中で人と人との</li> </ul>	<p><b>課題の</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題を地球規模の視点から分野横断的に総合的に捉えていくと同時に、その学びを実践の活動にいかしていくこと</li> </ul>	<p><b>主体の</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>滋賀に関わる全ての主体が環境問題の解決を自分ごととして捉えて、協働・連携していくこと</li> </ul>

## 4. 滋賀の環境学習を推進するために

**【展開】** → 実践とつながりの観点から、個人でできること、それを支援するためにできること、地域や学校でできること、県域でできること

<p><b>ひとり一人の暮らしを見直す</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モノの源に思いをはせ、消費行動を見直す</li> </ul>	<p><b>実践行動を支える、広げる、高めあう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域から人材を発掘し、実践をファシリテートするリーダー人材を育てる</li> </ul>	<p><b>世代を超えて地域から学びあう・課題を解決する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>異なる世代をつなぎ、それぞれの地域ならではの持続可能な地域づくりを進める</li> </ul>	<p><b>学びをつなぎ、学校と地域をつなぐ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広く環境学習に取り組む学校や地域等が交流できる機会づくりを進める</li> </ul>	<p><b>滋賀をまるごとつなぐ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な主体間の協働・連携に向けて、学習拠点のネットワーク・コーディネート機能を高め、県域でつながり合う</li> </ul>
---	---	---	---	--

## 5. 環境学習の成果の検証等

<p><b>環境学習推進の成果を測る指標</b></p>	<p>環境学習の推進の成果指標は、どれだけの人々が持続可能な社会づくりに向けて実践するようになったか、ひいては環境や社会の状態がよくなったかという県民の満足度などを確かめること</p>
<p><b>環境学習推進に</b></p>	<p>環境学習の枠組みである環境総合計画および環境学習推進計画を新たな環境学習の考え方に基づき見直すこと</p>

